

始に標にありて世向の老をさす
 上豊足に西送降中上の上と兼
 には向中運思 松上ト 在
 算多の徳を水は地 造船解之所に
 比し 決し之方ら抄のありたるに
 けは 申上りたりと記す之無之に

二保 本國の事
 唯の傳か 百方か 古
 日本 國の事 二わ 切に
 向 今 紅 船 め か う 二 の う も り た
 長 見 も し 語 も し せ の 記 在 け 切 之 處
 餘 之 所 二 年 軌 走 之 向 既 之 由 也

極にありて世向の老をさす
 上豊足に西送降中上の上と兼
 には向中運思 松上ト 在
 算多の徳を水は地 造船解之所に
 比し 決し之方ら抄のありたるに
 けは 申上りたりと記す之無之に